

# シュリンクバック対策用バインド

6kV CVケーブルのシースシュリンクバックを抑制します。

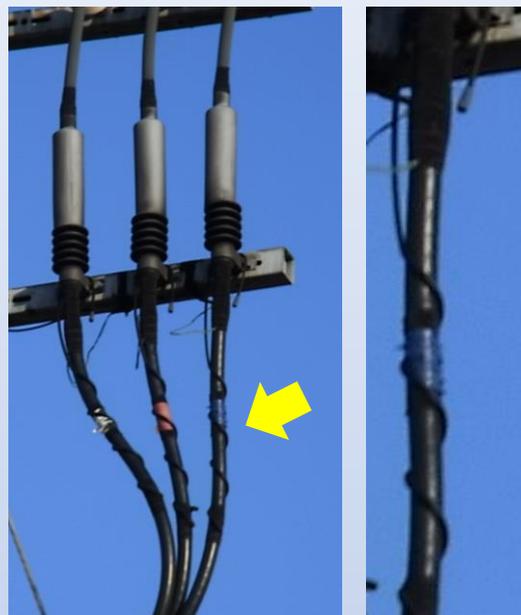
## 特長

- フック部を腕金などに取付け、らせん部分をケーブルに巻付けて用います。(次頁図参照ください)
- スキル・工具は必要ありません。
- 既設のケーブル端末に後づけ施工可能です。

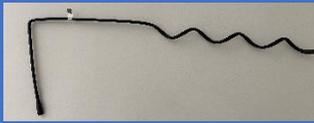
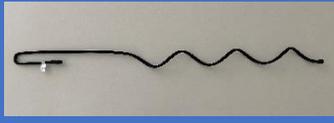
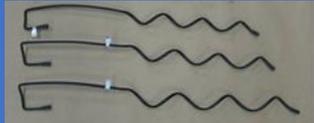
※ 6kV CV・CVTケーブルに適用

<非対応>

- ・ CE・EM CE/Fケーブル
- ・ 下表以外のサイズ, 対象ケーブル径



## 種類

	現地曲げタイプ (主用途：配電設備)	フックタイプA (主用途：配電設備)	フックタイプB (主用途：鉄道配電)
			
	製品長(mm) [対象ケーブル径]	製品長(mm) [対象ケーブル径]	製品長(mm) [対象ケーブル径]
6.6kV CV 22mm <sup>2</sup>	—	650 [Φ20]	540 [Φ20]
6.6kV CV 38mm <sup>2</sup>	—	670 [Φ22]	570 [Φ22]
6.6kV CV 60mm <sup>2</sup>	690 [Φ24]	690 [Φ24]	580 [Φ24]
6.6kV CV 100mm <sup>2</sup>	725 [Φ27]	—	700 [Φ27]
6.6kV CV 150mm <sup>2</sup>	760 [Φ30]	760 [Φ30]	740 [Φ30]
6.6kV CV 200mm <sup>2</sup>	790 [Φ34]	—	780 [Φ34]
6.6kV CV 250mm <sup>2</sup>	810 [Φ36]	820 [Φ36]	790 [Φ36]
6.6kV CV 325mm <sup>2</sup>	845 [Φ39]	—	830 [Φ39]
6.6kV CV 400mm <sup>2</sup>	—	890 [Φ42]	—

[6Z-071]

[A156]

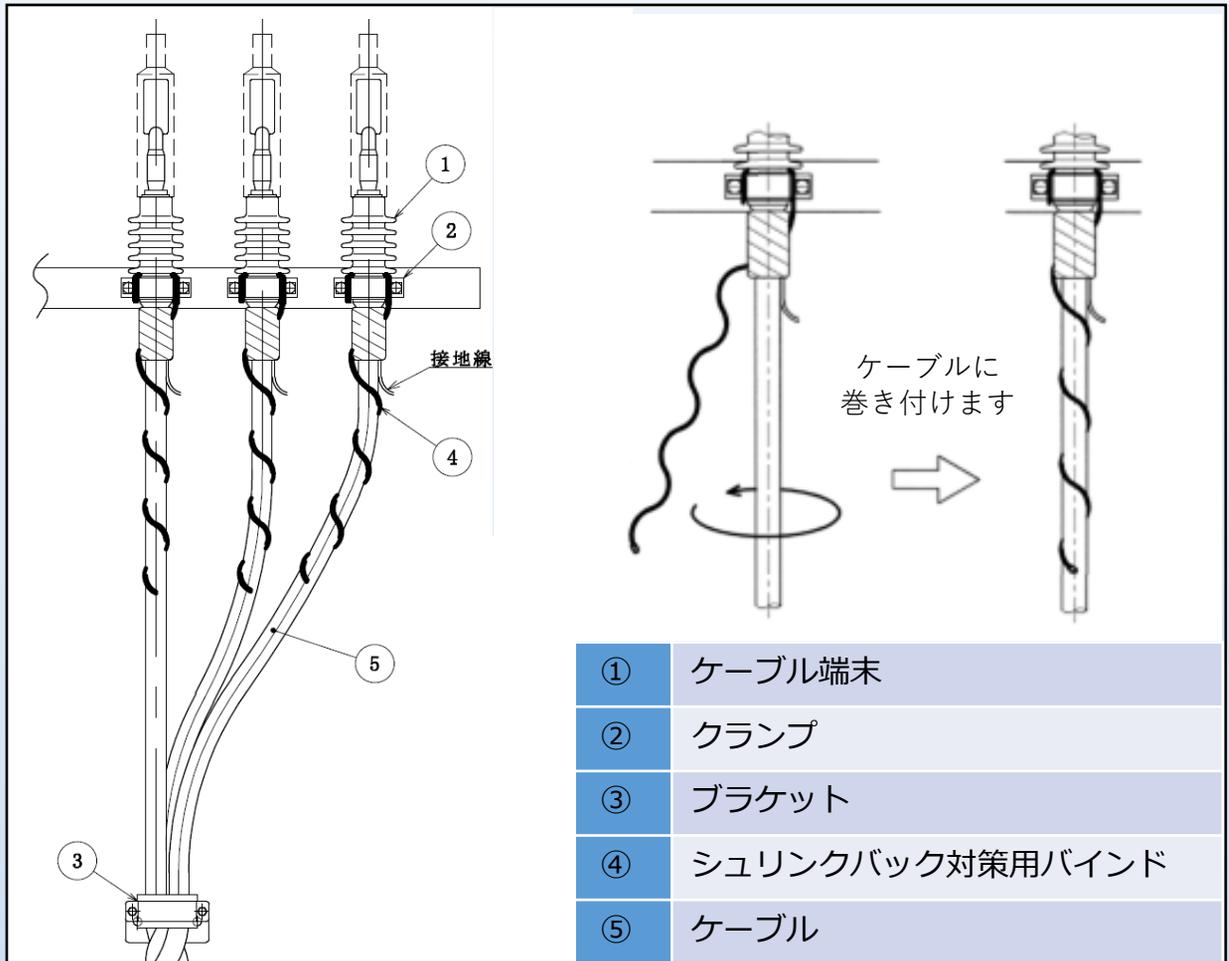
[CES72310]

[OEC\_SK-0139]

## 性能

○引張力98Nに耐え、シースのスリップ量が5mm以下

## ケーブル端末への取り付け



## シュリンクバックとは・・・

高圧ケーブルの端末部分で、ケーブル製造時のシース残留応力が日射や通電、ヒートサイクルなどにより開放され、シースが収縮する事象です。

シュリンクバック現象が起こると、地絡事故に至る可能性があります。

